（様式第3号）

記入例

住宅改修が必要な理由書

（P1）

※　保健師等の場合は、介護支援専門員番号は必要ありません。

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号	0000123456	生年月日	明治 大正 昭和 △	年 1	月 1	日	作成者	現地確認日	令和　年　月　日	作成日	令和　年　月　日
	ふりがな	タカツキ タロウ	要介護認定（該当に○）	要支援	要介護				所属事業所			
	被保険者氏名	高 槻　太 郎		1 ・ 2	1・2・3・4・5				連 絡 先			
	住所	〒 569-0067 高槻市 桃園町 2番 1号							介護支援専門員番号			
									氏　名			

〈総合的状況〉

利用者の身体状況	移動や立ち上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況を記述する。屋内及び屋外での移動方法（自立歩行・つたい歩き・介助歩行・歩行器利用など）を記述する。
介護状況	家族の状況、主な介護者を含む介護状況を記述する。
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修によって利用者・家族は、介護状況、ＡＤＬ、社会参加など、日常生活をどう変えたいか（特に何を希望しているのか）また、その効果を記述する。

福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
●車いす	□	□
●特殊寝台	□	□
●床ずれ防止用具	□	□
●体位変換器	□	□
●手すり	□	□
●スロープ	□	□
●歩行器	□	□
●歩行補助つえ	□	□
●認知症老人徘徊感知機器	□	□
●移動用リフト	□	□
●腰掛便座	□	□
●特殊尿器	□	□
●入浴補助用具	□	□
●簡易浴槽	□	□
●その他		
・	□	□
・	□	□

この理由書（P1・P2）について、文字等の訂正をする場合は記入者（介護支援専門員等）の訂正印が必要です。

福祉用具の利用状況を記入
（手すりやスロープなどは福祉用具として貸与を受けていれば記入）

高槻市記入欄

保険者	確認日		評価欄	

（注1）この理由書（P1・P2）について、文字等の訂正をする場合は記入者の訂正印が必要です。（注2）「福祉用具利用状況と住宅改修後の想定」には福祉用具の利用状況についてチェックしてください。